

フラン 不亂 寛永二十年五月筑前大島に於いて伴天連四人の着岸するを發見した爲に、幕府は普く切支丹の遺孽を求めしめたが、加賀藩からは不亂その他を江戸に送致した。この不亂は、三齋記に不閑と記されたものと同一人の如くである。同書にいふ。前田光高の時、能美郡吉竹村の一向坊主不閑は、切支丹たるの嫌疑を以て、江戸に檻送せられて拷問を受けたが、彼は頗る強硬にその教徒たざること陳辯し、遂に腰骨を摧かれるも服罪しなかつたから、遂に國に歸さるゝを得たと。

フリヒメ 富利姫 前田利家の女姦姫が宇喜多秀家に嫁して生むところ。秀家配流の後母子共に金澤に歸り、富利姫は明暦二年十二月番福寺七代宣勝に嫁して、利常から粧田百石を賜はり、延寶六年九月十六日歿した。法名先勝院釋授樂。

フルイチカネモト 古市務本 初諱胤宗。通稱典學・主計。前田利常に仕へて五百石を受け、萬治元年兄胤重殉死の後遺知三千六百三十石を襲ぎ、奏者役となつた。務本齋蓄力學、業を水戸の朱之璣に受け、簡書往復、切問近思懈らなかつた。延寶五年四月十一日歿、年三十六。治命の書なくして家断絶した。

フルエ 古江 羽咋郡鉾打郷に屬する部落。フルエイザエモンアゲチマチ 古江伊左衛門上地町 金澤の舊町名。藩士古江伊左衛門の居邸があつた所である。元祿九年の地子町肝煎裁許附に、古江伊左衛門上地町を穴町といふとあるから、後の穴町であることは明らかである。穴町は穴生町の略であるが、この地に穴生之者の居たことは、古江伊左衛門よ

りも前なのであらう。↓フルエジザエモン 古江治左衛門。

フルエサシマチ 古餌指町 金澤の町名。藩初の頃、此の地に餌指の居邸を賜はつたが、後淺野町の附近餌指町へ移轉を命ぜられ、因つて古餌指町と稱するに至つた。

フルエサダアキ 古江定昭 通稱彌左衛門。御小將に屬し、表御納戸奉行を勤め、祿二百二十石を受けた。貞享四年三月廿五日江戸御長屋に於いて前田六佑と喧嘩し、深手を負ひ後に死んだので家断絶した。

フルエジエモン 古江治右衛門 明和六年父要人定保の遺知四百石を襲ぎ、馬廻組に編せられ、後大小將組に轉じたが、天明五年十一月七日流刑に處せられ、後配所で歿した。その子八十太郎は幼少であつた爲連座を延期せられ、寛政四年歸りて出家した。

フルエジエモン 古江治左衛門 慶長八年前田利長に仕へ、祿漸く加りて四百石に及び、足輕頭となつて大坂役に従つた。その子伊左衛門繼ぎ、亦後に治左衛門と稱した。古江伊左衛門上地町の町を襲したものは是であらう。第六世治右衛門天明五年流刑に處せられて家断絶した。

フルキミ 古君 鳳至郡諸橋郷に屬する。文應二年の諸橋六郷田數目録に「本郷と古君の境は鶴ヶ川下は北、川まで古君内海共に云々。」と見え、又能登名跡志には「小田川より三四町浦傳ひ行けば古君村あり。助右衛門といふ能き百姓あり。蝶の鏡といふ不思議なる鏡を持傳へたり。又此村の姫崎といひて、妙泉寺地主權現の御旅所あり。風景の地にて謂ある神地也。」とある。

フルクラ 古藏 珠洲郡若山庄に屬する部落。

フルコウ 古府 能美郡古濱と國府とは明治八年に至り併合せられて古府となつた。

フルコウ 古府 鹿島郡矢田郷に屬する部落。古府は府中と共に王朝の時國司置應の所であつたのであらう。

フルコミ 古込 鳳至郡久手川の内の小字。フルサトシユウ ふると集 一冊。能美郡小松の俳僧龍石が二十年振りで故郷に入つた時の發句集である。寛政四年八月不除幹貞の序文があつて、龍石の諱を慈圓といひ、諸國に行脚し、伊勢の國に久しく住んでゐたが、この春故あつて小松に歸つたことが述べられて居り、幹貞は伊勢の人である。板元は京橋屋治兵衛。

フルサハカヘエ 古澤嘉兵衛 元和元年大坂役に従軍し、五月七日黒門の前にて首二つを獲たが、同日敵二十人許の中へ突入して奮闘の上戦死した。その子孫豐左衛門に至り家系断絶した。

フルサハサスケ 古澤左助 文祿四年前田利家に仕へて百五十石を領した。子孫藩に世襲する。

フルサハノブヤス 古澤信恭 通稱密右衛門・又右衛門。寛政九年新番となり、文化七年父又右衛門順信の遺知百五十石を襲ぎ、御持弓頭指南番・御近習番を経て、文政九年五十石を加へ、天保五年七月六十九歳を以て歿した。

フルサハマタエモン 古澤又右衛門 舊傳に前田利家の荒子に居た時から隨從した家人中で、又左衛門の又の字を賜はつた者は、村

井又兵衛・原田又右衛門・古澤又右衛門三人であると云ふ。政春古兵談に、天正十二年佐々成政が未森城から越中へ引取る時、加賀の鳥越城を襲うたが、城代目賀田又右衛門・丹羽源十郎・古澤又右衛門三人の内目賀田・丹羽兩人は城を明けて退去した。この時古澤又右衛門は手負ひ養生として能州蒲浦に赴いた留守中であつたが、その家來兩人は城に在つて討死した。是を以て目賀田・丹羽兩人は追放となつたが、古澤は子孫連綿して藩に仕へたといふ。然らばこの又右衛門は、諸士系譜に見える左助の先代であらう。

フルシロ 古城 鹿島郡矢田郷に屬する部落。

フルテラマチ 古寺町 金澤の町名。往昔は河原町と稱し、一町皆寺屋敷であつたが、前田利常は元和二年悉く之を泉野寺町に移轉を命じ、跡地を古寺町と稱して、諸士の邸に與へられた。

フルトウナイマチ 古藤内町 金澤の町名。舊傳に、昔此の附近が河原であつた頃は、今の法船寺町の廣見は茶屋所で、傍に藤内の居住地があつた。後藤内を他に移らしめ、その跡地を町地とするに及んで古藤内町の名が起つたと。

フルハマ 古濱 能美郡德橋郷に屬する部落。明治中國府と合併して古府とした。

フルミチ 古道 金澤の町名。往昔金澤から石川郡宮腰に向かふ道路は、三、構高殿寺の附近から長田・二口などの村を経たのであるが、元和二年前田利常の命によつて、今の宮腰往還に付け替へた。因つてその舊道に當る所に古道の名が残つた。